

本時のねらい

ハーモニーの美しさに気づき、歌唱表現に繋げることができる。

本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

- (1)音源を事前に生徒と共有しておくことで、家庭でも聴くことができ、授業内でも何度も聴き直すことができる。また、ミライシード（オクリンク）で聴いた感想を事前に提出させておくことで、授業時間内での時間短縮及び深める時間の確保ができ、さらには事前に意見交流もすることができる。
- (2)意見の交流時に JamBoard を使用することで、クラス全員の考えをリアルタイムで相互参照しながら、自分の考えを深め、広げることができる。

活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・ Teams
- ・ ミライシード（オクリンク）
- ・ JamBoard
- ・ カメラ
- ・ Forms

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (7分)	<ul style="list-style-type: none"> ○自宅で生徒がミライシードに書いた「Amazing Grace」の印象について全体共有する。【写真1】 ○本時のめあて「ハーモニーを意識して Amazing Grace を歌おう」を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自宅で音源を聴き、印象をミライシードに記入した上で授業を開始することで、この後の合唱練習や班交流に十分な時間を確保することができる。また、クラスの全員の意見が一覧で表示されるので、生徒は他の生徒の意見を確認することができる。
展開 (38分)	<ul style="list-style-type: none"> ○パート別に合唱練習を行う。 ・教員のピアノ演奏で練習するパートと、Teams の音源を活用して練習するパートに分ける。 ○「ハーモニーを感じた時、どんな気持ちになるか」を班ごとに JamBoard を使用して交流する。 ○合唱隊形になり、2パートずつ合唱を行い、感想を伝え合う。 ○全体で3段階でまとめの合唱をする。 ①ピアノ伴奏有り②薄めのピアノ伴奏有り ③ピアノ伴奏なし <p style="text-align: right;">【写真2】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○Teams にアップロードされている音源を聴くことで、自分の苦手な部分を自分のペースで何度も確認することができる。また、①Teams の音源で練習する、②友達だちとペアで練習する、③教員のピアノ演奏で練習するなど、自分に合った方法で練習できるようにする。 ○JamBoard を活用することで、自分の意見を付箋に記入して、リアルタイムで班で共有することができる。他の人の意見を相互参照しながら、自分の意見を書き込むことができる。 ○最後の合唱の様子を録画して、振り返り時にクラスで共有する。
まとめ (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ○録画した動画を映してクラスで共有する。本時の振り返りを Forms に記入する。 <p style="text-align: right;">【写真3】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○振り返りを Forms で行うことで、長い文章でも短時間で入力することができる。また、全員の振り返りも瞬時に把握でき、生徒への支援に生かすことができる。

1 人 1 台端末を活用した活動の様子



【写真1】Amazing Grace のみんなの印象を共有(ミライシード)



【写真2】ハーモニーを感じたとき、どんな気持ちのなるかに対する考えを記入(Jamboard)



【写真3】本時の振り返りの打ちこみ(Forms)

児童生徒の反応や変容

最後に歌った合唱は、最初に歌った合唱と比較して、曲への理解が深まったことで表現力が向上し、より想いをこめて歌う生徒の姿が見られた。自分で考えて、意見交流し、それらをもとに合唱に生かすことでより深い学びにつながった。自分たちの合唱が変わったことへの反応は良く、自分たちの合唱への自信にもつながると考えられる。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

他教科の授業でも ICT 機器を活用していることもあり、円滑に活動を行うことができた。特に意見交流時に JamBoard を使用することでクラス全体の考えを他者参照しながら共有し、自身の考えを深めることができた。これは、ハーモニーの美しい合唱を行う上でも重要なポイントとなった。